

# シンセティックフォニックスを用いた 二つのワークショップ

(多感覚を用い、日本語で指導-短時間学習に最適かつ効果的な指導法の習得を目指します。)

## 第一部 読み書きの基礎作り(8/26)

## 第二部 読み書きに困難を持つ子供たちへの文字指導(8/27)

主催：NPO小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)トレーナー石谷佳子・柴野しおり  
共催：藤女子大学、札幌YMCA英語・コミュニケーション専門学校 運営：札幌FU講座運営委員会  
後援：北海道教育委員会、小樽市教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会

### 内容 第一部(8/26)

- 10:00-10:10 オープニング
- 10:10-12:30 シンセティックフォニックスについて
- 13:20-14:05 公立小学校での実践発表
- 14:10-15:10 ジョリーフォニックスの指導法について
- 15:20-16:50 すべての子供たちが学べるために
- 16:50-17:00 クロージング

### 第二部(8/27)

- 10:00-10:10 オープニング
- 10:10-12:30 子供が感じる「困難さ」体験
- 13:20-14:05 公立小学校での実践発表
- 14:10-15:10 多感覚を用いた指導法
- 15:20-16:50 明日からでも使えるアイデア教材
- 16:50-17:00 クロージング



**講師** 山下 桂世子/Jolly Phonics・Jolly Grammar 公式トレーナー(イギリス在住)  
榛谷 都/臨床発達心理士・特別支援教育士(JUN International preschool 校長)  
石谷 佳子/ J-SHINE トレーナー(小樽市教育委員会非常勤講師・藤女子大学非常勤講師)  
**会場** 藤女子大学 北16条キャンパス (北区北16西2)  
新館4階471講義室 (公共交通機関をご利用ください。)北18条地下鉄駅より徒歩5分

**費用** 第一部 4,000円 第二部 4,000円 第一部&第二部セット 7,000円

**定員** 各日60名(先着順) 申込期限: 8月22日(火)

**申込** 下記URL申込フォームよりお申込みください。

<http://www.kokuchpro.com/event/2017sapporofu/>

お問い合わせ先: 戸嶋恵吏(フォローアップ講座札幌運営委員会)  
E-MAIL: jnetsapporo@gmail.com

## シンセティックフォニックスとは

フォニックスとは、「文字(綴り)と音の関係」、またはその指導法を言います。これまで日本ではアナリティックフォニックスが一般的でした。これはアルファベット順に大文字と小文字を同時あるいは大文字から順に指導していくため、アルファベット 26 文字を理解し、ある程度の単語を知っているのが前提でした。

これに対しシンセティックフォニックスは、「s,a,t,i,p,n」のように①読める単語が増えやすい順に、②英文のほとんどを占める小文字から ③文字の音だけを先に指導④英語の 42 (44) の音と文字(綴り)を最初の段階で学ぶのが特徴で、前提が不要で学習者に負担が少なく、三文字を学習した段階からすぐに単語を読む練習を始めることができます。シンセティックフォニックスは、日本の小学校での国語の文字指導と同じ方法で英語の「文字と(綴り)と音の関係」を指導する方法です。そしてイギリスでは 68% の学校、世界 120 か国以上(2005 年データ)、など多くの学校で使用されている教材がジョリーフォニックスです。

## ジョリーフォニックスの特徴

- ① 英語の読み書きのつまづきをなくす。  
英語学習の基礎となる読み書きを丁寧に指導し、単語の読み書きのハードルを低くします。
- ② 単語学習の負担を減らす。  
英語のつづりの規則性がわかるようになり、暗記にたよる必要がなくなります。
- ③ お話や絵本、歌、アクション(動作)を使って、飽きずに楽しみながら学べる。
- ④ 英語を母語としない子供にも学びやすい。
- ⑤ 特別支援が必要な子供にもやさしいプログラム  
視覚、聴覚、身体感覚などをフルに活用する「多感覚法」を取り入れているので、記憶に残りやすく、LD や発達障害をもつ子供たちにも効果的な手法です。
- ⑥ 教え方、学び方が極めてシンプルで、短時間学習の積み重ねでマスターできる。  
カリキュラムは系統的に組み立てられており、子供にとって学習の負担が少なく、指導者にとってもシンプルでわかりやすい構成です。一日 15 分、流れに沿ったレッスンを繰り返し行うことで、早い段階から英語の読み書きができるようになります。

## 講師紹介



山下桂世子 Kayoko Yamashita

愛知県で小学校の教員(通常学級と特別支援学級)、イギリスのプリスクールでの勤務経験を経て、現在は現地の小学校で Teaching Assistant として英語を母語にしない子供たちに英語を指導。また、2012年ノッティンガム大学大学院教育学部特別支援修士号を取得し、勤務校で特別支援チームリーダーとしてスタッフをサポートしている。日本語教師としても活躍。2013年から Jolly Phonics, Jolly Grammar のトレーナーとして活動を開始。主に日本でトレーニングや南魚沼市をはじめとする各市でジョリーフォニックスの教員研修を行う。2017年に東京書籍より「はじめてのジョリーフォニックス-ティーチャーズブック-」と「はじめてのジョリーフォニックス-スチューデントブック-」を出版。



榛谷都 Hangai Miyako

1998年より東京都杉並区で、JUN International Preschool (1歳から就園前の子供を英語で保育)を主催。幼児から大人まで対象の英語教師の傍ら主に発達障害の専門家として、東京都の公立小学校、中学校、高校、特別支援学校で臨床発達心理士、特別支援教育士として勤務中。TEACCH 現場視察で、米国を度々訪問。



石谷佳子 Yoshiko Ishitani

J-SHINE トレーナー、藤女子大学文学部非常勤講師、小樽市教育委員会非常勤講師、YMCA 英語専門学校非常勤講師。2000年に商社海外勤務経験を活かし児童英語講師に転身。2009年にトレーナー資格を取得後札幌市、石狩市、小樽市にて小学校英語活動の支援にあたる。小樽市、釧路市、岩見沢市の教員研修会講師も務める。

## 公開授業のお知らせ

実際の授業を見ていただく機会設けました。

・8月25日 札幌市立幌北小学校 午後(6年生)

・8月28日 小樽市立奥沢小学校 午後(5年生)

運営委員会にお申込みください。詳細をお知らせします。

E-MAIL: [jnetsapporo@gmail.com](mailto:jnetsapporo@gmail.com)

① 名前②所属③連絡先④小樽 or 札幌を明記ください。

お申込み多数の場合は制限をさせていただく場合がありますので、ご了承ください。公開授業の参加は無料です。